

観光危機事件が中国大学生の日本への観光意欲に与える影響に関する研究

—新型コロナウイルスを例として—

大阪経済法科大学大学院経済学研究科（経営学専攻）

修士課程 1 年 王

1. 研究の目的

日本では若者が海外旅行離れをしているといわれているが、中国では大学生を中心とした若年層による海外旅行は依然として増加傾向にある。本研究では、中国人大学生を調査対象とし、新型コロナウイルス感染症終息後の日本への旅行意識（動機、行動の変化、今後の旅行意向、など）をアンケート調査することで、中国人大学生の観光ニーズを分析し、感染症の流行前と終息後の訪日意欲の変化を把握することを目的としている。さらに、新型コロナウイルス感染症の流行が日本のインバウンド市場におよぼした影響を把握した上で、これから企業において観光客誘致のためのマーケティングがなすべきこととは何かを検討したい。

2. 研究の背景

近年では中国の急激な経済成長から中国国民の所得水準が大きく向上し、国民生活の充実度が高くなったことで、中国のアウトバンド観光（中国人による海外旅行）が着実に進展している。一般に、中国のアウトバンド観光は、中国国民が個人的または職業上の理由で、自国以外の国や地域で観光、休暇、家族訪問、医療、ショッピング、会議、またはビジネス、文化、教育、宗教活動などを行うことを指す。中国文化旅游部（2019）によると、2018年に海外旅行に行った人は1億4,972万人で、前年比14.7%増となった。また、海外旅行での消費額が多い都市は、1位が香港、2位がドバイ、3位が大阪。東京、名古屋、京都も10位以内にランキングされている。本研究は、中国のアウトバンド観光における、日本への旅行に注目する。

日本政府観光局（JNTO）（2019）の統計によると、訪日中国人観光客数は、2014年から2019年までの6年間に、240万人から960万人へと約4倍に増加している（図1）。年間を通じた訪日中国人数は、近年では、春秋よりも夏季に最も多く、次いで冬季が2番目に多くなっている。

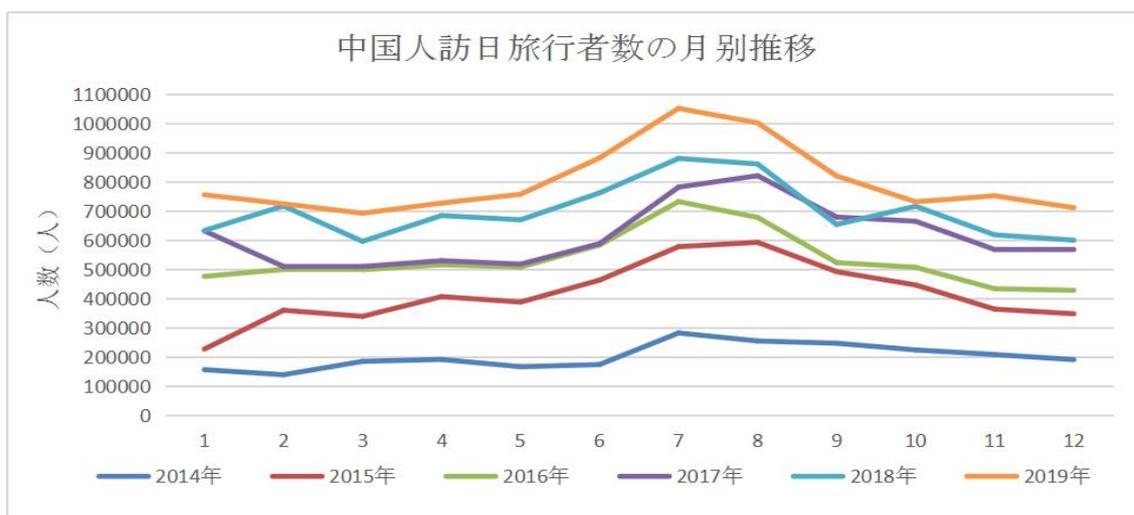


図1 2014年-2019年中国の訪日旅行者数の推移（日本政府観光局（JNTO））

倪（2020）が2002年から2020年までの月次の時系列データを用いて行った一般化ポアソン回帰分析結果によれば、訪日中国人数に七連休と夏休みが強く影響していることがわかる（図2、前掲）。これより、多くの中国人旅行者が夏休みと冬休みを利用して、海外旅行していることがうかがわれる。ただし、中国での七連休の月は年によって変わる。

中国では、社会人は法定休暇以外に休みが少ないことから、夏休みと冬休み期間に集中する訪日中国人のうち、学生が高い割合を占めていると考えられる。

また、日本の一般社団法人ジャパンショッピングツーリズム協会「消費税免税制度改正について」によれば、日本政府は、中国人観光客を誘致するために、観光ビザ要件の緩和や申請手続きの簡素化、免税対象の拡大等の政策を実施している。倪（2020）の分析結果によれば、このような環境の下で、多くの中国人観光客や大学生がビザを取得しやすくなり、大学生を中心とする若年層による日本観光が促進したと考えられる（図2、前掲）。

近似標準化係数	目的変数 = 中国人観光客数				
変数名	中国人観光客数	95%下限	95%上限	VIF	
TREND	.766 **	.669	.863	2.817	
三連休ダミー	.002	-.068	.073	1.300	
七連休ダミー	.052 *	.010	.094	1.290	
夏休みダミー	.098 **	.062	.134	1.182	
冬休みダミー	-.018	-.062	.026	1.196	
災害ダミー	-.173 **	-.206	-.140	1.038	
免税とビザ緩和	.164 **	.079	.249	2.715	
R^2	.879 **				

図2 訪日中国人の一般化ポアソン回帰分析（2002年1月から2020年1月まで）

2019年の累計中国人観光客数は過去最高の31,882,049人に達したが、12月以降、新型コロナウイルス感染症の世界的拡散は日本におけるインバウンドを直撃し、2020年5月の訪日外客数は前年同月比99.9%減の1,700人に激減しNTOで統計を取り始めた1964年以来最低となった(図3)。現在も、ほぼ旅行者数がゼロに近い状態が続いている。

一方、日本政府は、国内景気と国内の旅行事業を刺激するために、消費喚起事業(Go Toトラベル事業)を開始したが、新型コロナウイルス感染症の拡大の原因で、国土交通省はGo Toトラベル事業の適用を休止することを正式に発表した。これらは、日本旅行業界が大変厳しい状況にあることを示している。



図3 2020年中国の訪日旅行者数の推移(日本政府観光局(JNTO))

新型コロナウイルス感染症終息後、日本のインバウンド需要を回復させるためには、国境を越えた人の移動が不可欠となるが、感染症の影響を受けた中国人観光客の訪日意欲に変化が生じていないかが懸念される。過去の訪日外国人観光客の統計データから、中国人旅行者は日本の旅行業界の持続的成長において重要な役割を果たしていることがわかる。本研究は、中国人大学生を調査対象とし、新型コロナウイルス感染症の流行前と終息後の訪日意欲の変化を考察するものである。さらに新型コロナウイルス感染症の流行後に、企業においてはどのような外国人観光客誘致の取り組みを取るべきなのかも考察したい。

3. 先行研究

観光分野において観光危機管理が注目され、マーケティング戦略の構築に導入されるようになって久しい。危機は、マイナスの影響とプラスの影響の両方をもたらす可能性を秘めている。アメリカ同時多発テロ事件や、イギリスの農場で発生した家畜伝染病の口蹄疫、バリ島爆弾テロ事件等の出来事を対象に、危機が観光におよぼした影響についての研究がなされてきた。過去の事例を振り返ってみると、世界各地で多くの災害や危機が発生し、観光業は多大な被害を受けてきた。今後、新型コロナウイルス感染症の発生など、国内外

で様々な危機が発生することは避けられない。このような危機が発生した際に、地域社会や観光関連事業者が事前に観光危機管理計画を策定し、それに基づいて現場で活動できる体制を整えておけば、観光客や事業者のリスクを軽減し、危機後の観光復興を早めることが可能となる。危機による影響を、組織や観光地域の将来発展にプラスに作用させ、可能な限り負の結果につながらないようにするには、すばやい判断と対応策の実行が必要である。Frisby (2002) は、FMD 危機が観光への影響とその対策を指摘した。藤井とマク (1980) はハワイの状況の調査を行い、観光客の数の増加が地元の強盗とその犯罪を大幅に増加させていると述べている。

中国国内における観光危機に関して、2003 年の SARS (重症急性呼吸器症候群) が挙げられる。当初、SARS はすぐに収束するとの見方が多かった。しかし、2003 年 4 月から 6 月にかけて大手旅行会社で海外パッケージツアーを予約した人の数は、前年同期に比べて 3 割から 4 割も減少した。特にアジアの旅行先では 4~5 割の減少となっており、香港だけでも 65~75% の減少と深刻な状況となっている。日本旅行業協会によると、15 年度上期 (4~9 月) の国内旅行業界の海外旅行取扱量は前年同期比で 4 割減となり、損失額は約 5000 億円に上るといふ。SARS が旅行業界に及ぼす影響に関して多くの研究がなされてきた。李と孫 (2006) は、中国のインバウンド観光に対する SARS の影響を分析した。毛 (2006) 、李 (2006) 、陶 (2007) それぞれは、マレーシア、タイ、シンガポールの観光危機管理について研究し、観光危機管理における中国の管理システムと管理方法の欠点を考察した。さらに、李 (2007) は、大学生の観光動機と意欲の研究で、北京の大学生の国内観光消費の好みを研究した。

上記の文献を分析したところ、日本国内の観光危機管理に関する研究はほとんどなく、国内外の観光危機や観光動機に関する研究は多いが、観光危機が観光産業全体に与える影響について論じていることが多い。また、大学生を調査対象とした研究が見られず、新型コロナウイルスの研究例もない。

中国人の訪日旅行に関しては、研究の数がまだまだ多い状況とは言えない。したがって、本論文では、定量的な手法を用いて、新型コロナウイルス感染症が中国人大学生の日本への観光意欲に与える影響を明らかにすることを目的としている。

4. 新型コロナウイルス感染症終息後の訪日意欲に影響を及ぼす要因

4.1. 調査概要

本稿では、2020 年 11 月に実施した「中国人大学生の訪日意欲についての調査」インターネットアンケート調査によって、収集したデータを用いて分析を行う。この調査形式を採用した理由は以下の 2 点である。1、新型コロナウイルス感染症が流行している中、対面でアンケート調査結果を収集するのが困難である。2、調査環境の不確実性 (回収率の低下、

プライバシーや個人情報保護法による拒否率があるなど) の中で、調査対象者を抽出するためである。

調査対象者は現在、中国の大学に在籍している中国人大学生である。この調査は、まず調査対象者の妥当性かを調べるための事前設問をアンケート回答者に対して実施し、その中から条件を満たす対象者を抽出し、本調査に2段階の方式を採用している。さらに、回答開始時間と回答終了時間から、個々の回答者が全設問への回答に費やした時間を計算し、時間の分布を見たうえで、短時間で解答したものを除いている。このような操作により、サンプル数は164人となった。

4.2. 分析に用いる変数

中国人大学生の訪日意欲は、「中国人大学生の訪日意欲についての調査」というアンケートの20問の質問の回答結果によるカテゴリーデータとして与えられる。中国人大学生の訪日意欲に及ぼす要因として、以下の項目を考えている。文化・感情要因を表す変数として分析に用いるのは、伝統的な日本文化、本場の日本食、美しい景色、新しい体験、ライブやスポーツ、漫画やドラマ、旅行先からの歓迎度という変数である。次に、交通要因として、旅行料金の安さ、移動の便利さ、国との距離が考えられる。制度・政策要因として考えられるのが、ビザの取得しやすさ、医療の整備、外国人旅行者向けの支援策、旅行先からの歓迎度である。ここで、文化・感情要因と制度・政策要因はともに旅行先からの歓迎度に影響を与えていると仮定する。日本国民による中国人観光客に対する感情は、中国人観光客の訪日意欲を左右し、日本政府が策定する観光促進対策にも影響を与えられからである。いずれも「そう思う」から「そう思わない」の5段階から1つを選ぶ方式で回答を得ている。これらを整理すると、以降の分析で用いる観測変数は次のようになる。

変数リスト

<p>〈文化・感情要因 (f1) 〉</p> <p>①伝統的な日本文化 (x1) 、</p> <p>②本場の日本食 (x2) 、</p> <p>③美しい景色 (x3) 、</p> <p>④新しい体験 (x4) 、</p> <p>⑤ライブやスポーツ (x5) 、</p> <p>⑥漫画やドラマ (x6) 、</p> <p>⑫旅行先からの歓迎度 (x12) 、</p> <p>⑭日本製商品への好感度 (x14)</p>	<p>〈交通要因 (f2) 〉</p> <p>⑧旅行料金の安さ (x8) 、</p> <p>⑨移動の便利さ (x9) 、</p> <p>⑩中国との距離 (x10)</p> <p>〈政策・制度要因 (f3) 〉</p> <p>⑦ビザの取得しやすさ (x7) 、</p> <p>⑪医療体制の整備 (x11) 、</p> <p>⑫旅行先からの歓迎度 (x12) 、</p> <p>⑬外国人旅行者向けの支援策 (x13) 、</p>
---	--

上記のほかに、訪日意欲を表す変数がある。これらの要因に付された変数番号はアンケート調査の 24 項目の質問番号に対応している。訪日意欲を表す変数は質問 20 の回答結果によって与えられるが、本論文では、それを⑩訪問意欲 (x15) とする。

4.3. 分析手法

本稿では、共分散構造分析を用いて新型コロナウイルス感染症終息後の訪日意欲に影響を及ぼす要因を分析する。共分散構造分析は、変数間の因果関係を表したパス図により、統計モデルを視覚的に直感的に分かりやすく表現する数理統計手法である。変数として、実際に観測することができる観測変数だけでなく、観測することができない潜在変数を人為的に導入して、適合指標の高いモデルを追求する。

分析には、株式会社 NTT データ数理システムの Visual R Platform の R スクリプトの内部で、外部の R のパッケージを呼び出し、"library(sem)" を使用することで、共分散構造分析を用いることができる。さらに、R 上に出力された dot ファイルを、graphviz の GVedit で読み込み、パス図を描画することができる。事前に Visual R Platform を利用し、因子分析を行ってから、共分散構造分析を行った。

本論文では、次のモデルを想定している。

$x_1 = a_{b_{11}}f1 + e_1$	$x_8 = a_{b_{81}}f2 + e_8$
$x_2 = a_{b_{21}}f1 + e_2$	$x_9 = a_{b_{91}}f2 + e_9$
$x_3 = a_{b_{31}}f1 + e_3$	$x_{10} = a_{b_{10,1}}f2 + e_{10}$
$x_4 = a_{b_{41}}f1 + e_4$	$x_7 = a_{b_{71}}f3 + e_7$
$x_5 = a_{b_{51}}f1 + e_5$	$x_{11} = a_{b_{11,1}}f3 + e_1$
$x_6 = a_{b_{61}}f1 + e_6$	$x_{13} = a_{b_{13,1}}f3 + e_1$
$x_{12} = a_{b_{12,1}}f1 + a_{b_{12,1}}f3 + e_{12}$	$x_{15} = a_{a_{15,1}}f1 + a_{a_{15,2}}f2 + a_{a_{15,3}}f3 + e_{15}$
$x_{14} = a_{b_{14,1}}f1 + e_{14}$	

このモデルにおいて、 $x_1 \sim x_{15}$ の変数は観測変数であり、 $f1 \sim f3$ は潜在変数である。 $a_{b_{11}}$ や $a_{a_{15,1}}$ のような表記はパス係数を表している。 $e_1 \sim e_{15}$ は誤差変数である。上記のモデルは、以下の仮定に基づいている。

1. 潜在変数「文化・感情要因」は観測変数の「伝統的な日本文化」「本場の日本食」「美しい景色」「新しい体験」「ライブやスポーツ」「漫画やドラマ」「旅行先からの歓迎度」「日本製商品への好感度」によって測定される。
2. 潜在変数「交通要因」は観測変数の「旅行料金の安さ」「移動の便利さ」「中国との距離」によって測定される。
3. 潜在変数「政策・制度要因」は観測変数の「ビザの取得しやすさ」「旅行先からの歓迎

度」「医療体制の整備程度」「外国人旅行者向けの支援策」によって測定される。

4. 観測変数「訪日意欲」は潜在変数の「文化・感情要因」「交通要因」「政策・制度要因」から影響を受けている。

4.4 分析結果

図4は分析モデルの推定結果である。楕円は潜在変数を表し、四角形は観測変数を表している。円は誤差を意味するが、分析モデルでは、変数に付随する係数と誤差分散が推定される。それぞれの変数に関する推定値、影響力の大きさを表す推定値がパス上で書かれている。

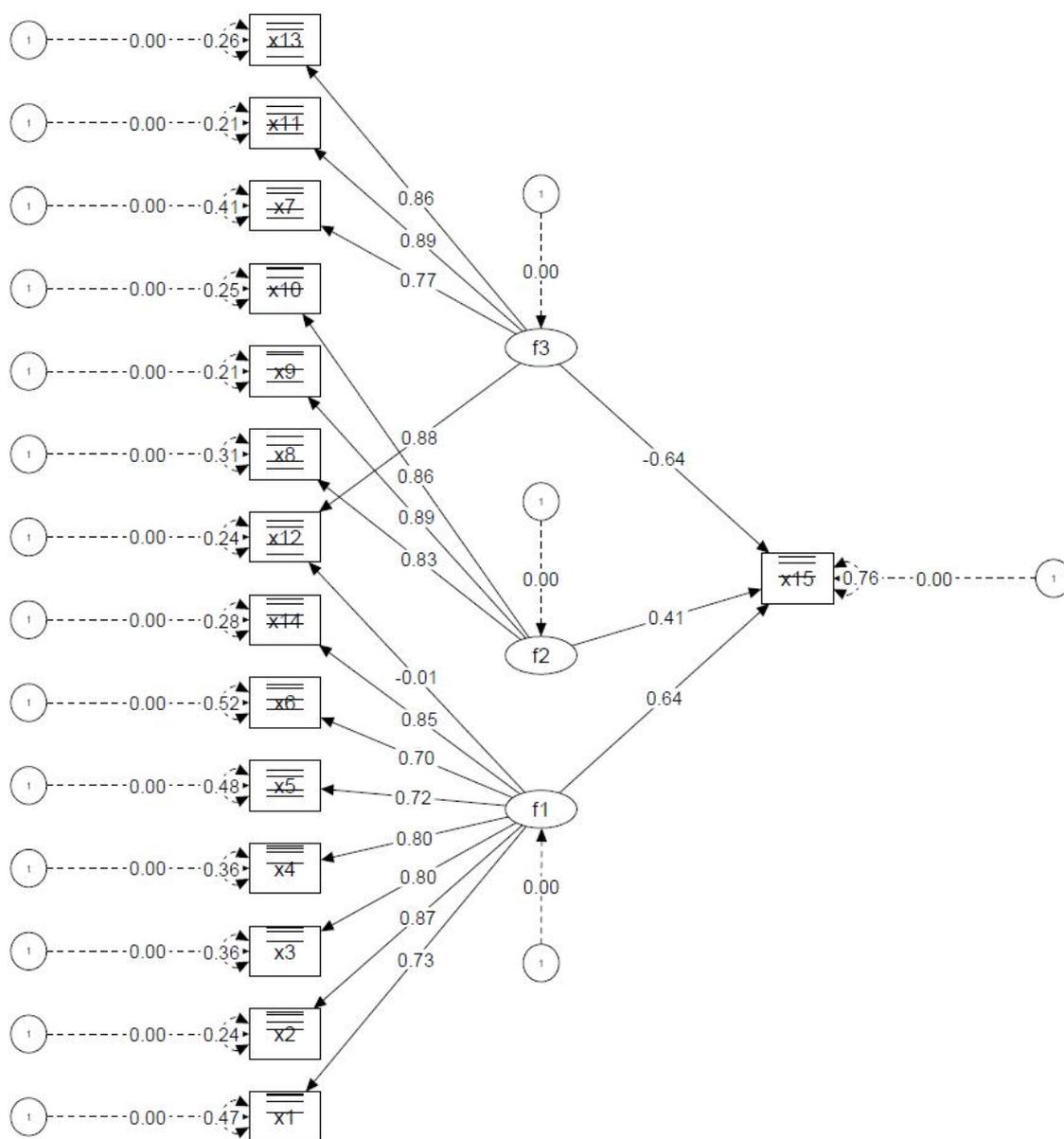


図4 新型コロナウイルス感染症終息後の訪日意欲に影響を及ぼす要因

パス係数や誤差分散を見る前に、まずモデルのフィットの度合いを見ていく。表1は適合指標の計算結果をまとめたものである。

表1 分析モデルの適合度指標

Comparative Fit Index (CFI)	0.978
Tucker-Lewis Index (TLI)	0.972
RMSEA	0.131
90 Percent confidence interval – lower	0.111
90 Percent confidence interval – upper	0.152
P-value RMSEA \leq 0.05	0.000

モデルの適合度を測る指標として、CFI (comparative fit index : 比較適合度指標)、TLI (Tucker-Lewis Index)、RMSEA (root mean square error of approximation) などが良好となった。また、カイ二乗検定を利用することもあるが、「構築したモデルが正しい」という仮説を帰無仮説として検定を行うため、通常の仮説検定の手続きと正反対である。さらに、この検定は観測対象数の影響を受けやすく、観測対象数が多くなると棄却されやすくなってしまいますので、本論文では検定を利用しないことにする。

CFIとTLIは、当該のモデルが独立モデル(データとの適合が最悪)と比べてどの程度良いものか、を指標化したものである。共分散構造分析の場合においては、すべての観測変数間に一切のパスを引かず、各変数の分散のみを自由推定するモデルを独立モデルと考えることが一般的である。CFIとTLIは、いずれも1に近ければ近いほど良いモデルとされているが、一般にこの数値が0.95以上になることが良いモデルの目安として使われる。表1によれば、CFI=0.978>0.95、TLI=0.972>0.95となり、TLIは判断基準である0.95よりも大きいので、適合が良いといえる。NFIも独立モデルとの比較による指標として挙げられるが、現在ではあまり使用されない。

一方、RMSEAはモデルの分布と真の分布との乖離を1自由度当たりの量として表現した指標である。RMSEAに関して、広く用いられている判断基準として、RMSEA>0.10ならば適合が悪く、RMSEA<0.05ならば適合が良いとされる。表1によれば、RMSEAは判断基準よりも大きい(RMSEA=0.131>0.10)結果となっている。そしてRMSEAの90%信頼区間の上限と下限も出力されている。「P-value RMSEA \leq 0.05」は本論文のモデルのRMSEAが0.05よりも小さいという帰無仮説に対する検定のp値である。RMSEAの結果によると、モデルの適合はそれほど良くない。ただし、本論文で用いられる変数は連続変数ではなく離散データであるため、モデルの分布と真の分布との乖離を離散分布で対応する必要がある。通常のRMSEAは連続分布に基づくものであることから、RMSEAという指標を用いる合理性についてはまだ議論する余地がある。

5. 分析および考察

標準化パス係数の推定値は表 2 に示される。

表 2 構造方程式モデルの標準化パス係数の推定結果

変数	標準化 推定値	標準偏差	z 値	p 値	信頼区間の下限	信頼区間の上限
f1 -> x1	0.727	0.049	14.981	0	0.632	0.822
f1 -> x2	0.874	0.041	21.548	0	0.794	0.953
f1 -> x3	0.802	0.044	18.347	0	0.716	0.888
f1 -> x4	0.803	0.047	17.173	0	0.711	0.895
f1 -> x5	0.719	0.052	13.706	0	0.616	0.821
f1 -> x6	0.696	0.052	13.365	0	0.594	0.798
f1 -> x12	-0.006	0.09	-0.072	0.942	-0.182	0.169
f1 -> x14	0.85	0.043	19.921	0	0.767	0.934
f2 -> x8	0.831	0.037	22.613	0	0.759	0.904
f2 -> x9	0.89	0.033	27.374	0	0.826	0.953
f2 -> x10	0.864	0.044	19.807	0	0.778	0.949
f3 -> x7	0.765	0.043	17.812	0	0.681	0.849
f3 -> x12	0.877	0.079	11.136	0	0.723	1.031
f3 -> x11	0.888	0.026	34.785	0	0.838	0.938
f3 -> x13	0.859	0.028	30.947	0	0.805	0.913
x15 <- f1	0.643	0.229	2.804	0.005	0.194	1.093
x15 <- f2	0.407	0.216	1.886	0.059	-0.016	0.829
x15 <- f3	-0.639	0.374	-1.708	0.088	-1.373	0.094

表 2 において、まず、「文化・感情」の潜在変数 (f1) は、観測変数の「伝統的な日本文化」「本場の日本食」「美しい景色」「新しい体験」「ライブやスポーツ」「漫画やドラマ」「旅行先からの歓迎度」「日本製商品への好感度」によって測定される。「文化・感情」(f1) から観測変数への係数のうち、「本場の日本食」(x2) への係数が最も大きい (= 0.874)。これは中国人観光客が日本文化または日本に対する感情は、本場の日本食を食べたいという気持ちに非常に強く影響していることがわかる。一方、パス係数の大きさ (絶対値) が最も小さいのは「旅行先からの歓迎度」(x12) である (パス係数の絶対値=0.006)。

これは、中国人観光客が日本文化または日本に対する高感度が高まるにともない、日本から歓迎されていない不安が募るものの軽微なことを意味している。もっとも、日本から中国人観光客が歓迎されていない状況であれば、訪日意欲も低下しよう。パス係数のうち、2番目に大きいのは「日本製商品への好感度」(x14)である(パス係数=0.85)。これは中国人観光客が日本文化または日本に対する感情は、日本製商品への好感度に強く反映されることを意味している。一方、2番目に小さいパス係数は「漫画やドラマ」へのパス係数である。すなわち、中国人観光客の対日感情が漫画やドラマへの熱心に対する影響は食や風景ほど強くないことが言える。これも非常に興味深い推定結果である。

このような結果となった原因は、今回のアンケート調査対象は大学生であることが考えられる。一般に、中国では、漫画やドラマにはまりやすい層は20代など若年層が多い傾向があると思われる。10代または30代以上の人は学業や仕事のためアニメや漫画などあまり見る時間がないからである。また、食べ物や風景などに関しては、国内旅行やヨーロッパ旅行などが代替案として挙げられる。そのため、中国人観光客が日本文化または日本に対して高感度が低い場合は、本場の日本食や美しい景色などに対する思いが簡単に他の代替案によって代替されると考えられる。しかし、日本の漫画やドラマは、日本特有のものといつていいほど魅力がある。結果として、中国人観光客の対日感情が悪くなっても、漫画やドラマへの熱心は日本食や美しい景色に対する思いのように簡単には消えない。上記の分析に基づいて、新型コロナウイルス感染症終息後における中国人観光客誘致のための取り組みとして、中国人大学生に積極的に日本の漫画やドラマを宣伝することが挙げられる。

次に、潜在変数の「交通要因」(f2)をみると、「旅行料金の安さ」(x8)、「移動の便利さ」(x9)、「中国との距離」(x10)へのパス係数は、それぞれ0.831、0.89、0.864であり、「移動の便利さ」への影響度が強いことがわかる。そして、「旅行料金の安さ」に対する影響は最も小さいことがわかる。すなわち、交通要因が訪日意欲に影響を及ぼす要因として挙げられる場合、「旅行料金の安さ」を追求するよりも「移動の便利さ」が中国人大学生の中で最も大きく評価される。その理由は、近年では中国の急激な経済成長から中国国民の所得水準が大きく向上し、国民生活の充実度が高くなったことが考えられる。

潜在変数の「政策・制度要因」(f3)をみると、「ビザの取得しやすさ」(x7)、「旅行先からの歓迎度」(x12)、「医療体制の整備程度」(x11)、「外国人旅行者向けの支援策」(x13)への係数は、それぞれ0.765、0.877、0.888、0.859である。これによると、訪日意欲に関する「政策・制度要因」では「医療体制の整備程度」への関心度に対する影響度が大きいことが言える。すなわち、新型コロナウイルス終息後、中国人大学生が日本へ訪問しようと思っているときに、現地における医療体制が整えられているかどうか政策・制度要因として重要視される。パス係数が最も小さいのは「ビザの取得しやすさ」への係数である。その背後に、日本政府は、中国人観光客を誘致するために、観光ビザ要件の緩和や申請手続きの簡素化、免税対象の拡大等の政策を実施していることが原因として考えられる。

最後に、訪日意欲に関して考察する。「訪日意欲」(x15)は「文化・感情要因」(f1)、「交通要因」(f2)、「政策・制度要因」(f3)から影響を受けている。パス係数の推定値を見ると、「文化・感情要因」が「訪日意欲」に及ぼす影響が大きいことがわかる。そして、「交通要因」はパス係数の推定値が低く(=0.407)、中国人大学生の訪日意欲に及ぼす影響力が低いと考えられる。この分析結果によれば、新型コロナウイルス終息後、中国人観光客を誘致する対策として、「文化・感情要因」に力を注ぐべきだと考えられる。すなわち、格安ツアーの提供よりも漫画やドラマの宣伝などに力を入れたほうが、より効率的に中国人大学生の訪日意欲を喚起できるということを示唆している。

5. 結論

新型コロナウイルスの流行により、日本の観光業界は非常に大きなダメージを受けている。現時点ではまだ新型コロナウイルスが終息する見込みがないが、新型コロナウイルス終息後の観光振興策を考えることが、観光業界の企業のみならず、日本の経済の持続的な成長にも重要な意味がある。

本論文では、中国人大学生を分析対象に、共分散構造分析モデルを構築することで、中国人大学生の訪日意欲を分析した。共分散構造分析は、観測変数と潜在変数との関係を分析するための有用なアプローチである。本論文の分析結果によると、中国人大学生の訪日意欲に影響を及ぼす要因のうち、「文化・感情要因」による影響力が最も大きく、「交通要因」による影響力が最も小さいことがわかる。そして、「文化・感情要因」のパス解析によると、中国人観光客の対日感情が悪くなった場合、日本食や美しい景色に対する思いが簡単に消えるが、漫画やドラマへの熱心は簡単には消えないことがわかる。

結論として、新型コロナウイルス終息後、中国人大学生の訪日意欲を喚起させるための対策として、格安ツアーの提供よりも漫画やドラマの宣伝などに力を入れたマーケティング戦略をとったほうが効率的だといえる。

参考文献

- [1] 中国文化旅行部. 「2018年中国人海外旅行ビックデータ報告」, 2019
- [2] 日本政府観光局 (JNTO). ビジット・ジャパン事業開始以降の訪日客数の推移, 2019
- [3] 倪映傑. インバウンドの復興に向けて—訪日外客の集客要因—, 2020
- [4] 一般社団法人ジャパンショッピングツーリズム協会 「消費税免税制度改正について」, 2019
- [5] 日本政府観光局 (JNTO). 訪日外客数 (総数) , 2020
- [6] 豊田秀樹 『共分散講構造分析[R編]』, 2014
- [7] Frisby E. Communicating in a crisis: the British Tourist Authority's response to the foot-and-mouth outbreak and 11th September, 2001. *Journal of Vocation Marketing*, 2002, 9(1): 89-100
- [8] Fujii E T, Mak J. Tourism and crime: implications for regional development policy. *Regional studies*, 1980(14): 27-36
- [9] 李锋, 孙根年. 基于旅游本底线法(TBLM)的旅游危机事件研究--以 2003 年“SARS”事件为例, *人文地理*, 2006, (4):102-105
- [10] 毛小莉. 马来西亚旅游危机管理经验借鉴[J]. *东南亚纵横*, 2006, (10) : 45-52.
- [11] 李瑞霞. 泰国对旅游危机的控制机器启示[J]. *东南亚纵横*, 2006, (12) : 18-23.
- [12] 陶琼. 新加坡旅游危机管理初探[J]. *东南亚纵横*, 2007, (1) : 22-23.
- [13] 张铁生, 孙根年, 马丽君. 危机事件对张家界旅游影响评价[J]. *经济地理*, 2012, 32:(10)147-151.
- [14] 李怡颖. 我国大学生国内旅游消费偏好研究硕士学位论文北京市:北京第二外国语学院, 2007

付録：

中国人大学生の訪日意欲についての調査

修士論文の執筆にあたり、新型コロナウイルス感染症終息後の中国人大学生の訪日意欲に関してアンケート調査を行なっています。お忙しい中恐縮ですが、ぜひともご回答にご協力いただきますようお願い申し上げます。

1. あなたは現在、中国の大学に在籍している中国人大学生ですか。

はい いいえ ➡「はい」を選択した方のみアンケート調査への回答を進めてください。

【基本属性】

2. あなたの年齢を教えてください。（ 歳）

3. あなたの性別を教えてください。

男 女

4. あなたの学年を教えてください。

大学一年生 大学二年生 大学三年生 大学四年生

短期大学一年生 短期大学二年生 短期大学三年生

大学院一年生 大学院二年生 大学院三年生 その他（ ）

5. あなたの専攻を教えてください。

理系 文系

6. 現在お住まいの市町村はどちらですか。（ ）

【日本への訪問状況】

7. あなたが日本を訪れた回数をお答えください。

0回 1回 2～3回 4～5回 その他（ ） ➡「0回」を選択した方は問12へ進めてください。

8. あなたが日本を訪れた目的をお答えください。

観光・レジャー 親族・知人訪問 学習・研究関連 買い物 その他（ ）

9. あなたが日本で宿泊したところのある場所をお答えください。

ホテル 旅館 民宿 知人・友人の家 その他

10. あなたが日本を訪れた際の旅行手配方法をお答えください。

個人で手配した 団体ツアー 個人旅行向けパッケージツアー

11. あなたが日本で訪問したところのある地域をお答えください。

東京・大阪などの大都市 地方都市 田舎

12. あなたが日本を訪れた際の同行者をお答えください。

自分ひとり 家族・親族 友人 その他

【旅行をするための条件・スタイル】

13. あなたの毎月かけている生活費の平均を教えてください。

500-1000 元 1000-1500 元 1500-2000 元 2000-2500 元 その他 ()

14. あなたにとって適切な旅行期間はどれですか。

2～3 日 4～6 日 7～10 日 11～15 日 15 日以上

15. 一週間の日本旅行にかかる予算をお答えください。

3000-4000 元 5000-6000 元 7000-8000 元 9000-10000 元 10000 元以上

16. 旅行をする時期を教えてください。

法定休日・祝日 夏休み・冬休み 平日 土日 いつでも構わない

17. あなたが望んでいる旅行スタイルをお答えください。

一人で旅行する 家族・友人と旅行する 団体で行動する その他 ()

18. あなたはどのように情報を入手しますか。

観光総合サイト（携程・飛猪など） 旅行会社サイト 航空会社・ホテルサイト

旅行会社店舗 日本に住む・日本に旅行したことがある友人 口コミサイト

その他 ()

【新型コロナウイルス感染症終息後、訪日に必要な条件】

19. 新型コロナウイルス感染症終息後、どのような条件が満たされれば日本へ旅行したい
と思いますか。（複数回答可）

日本の感染者・新規感染者がゼロになった WHO が終息宣言を出した

治療薬やワクチンが確立された 口コミやマスコミ報道で安全だと確認できた

日本政府や自治体から外国人旅行者向けの支援策が出た

日本への入国制限が解除された 旅行先から歓迎されることが分かった

条件はない（今すぐにでも行く） その他 ()

【訪日意欲・旅行動機】

20. 新型コロナウイルス感染症終息後、日本旅行へ行きたいと思いますか。

行きたい 当面（1～2 年間程度）は行きたくない

新型コロナウイルス感染症の流行に関係なく日本旅行には行きたい

新型コロナウイルス感染症の流行に関係なく日本旅行には行きたくない

新型コロナウイルス感染症終息後、一定の条件が満たされれば行きたい

その他 ()

21. （「行きたくない」を選択した方のみ）新型コロナウイルス感染症終息しても、あなたが日本を訪れたい理由を教えてください。（複数回答可）

- 緊急時の対応が不安 食生活が不安 医療体制を心配する
公共交通機関の利用に抵抗がある 予算が足りない コミュニケーション面が不安
日本旅行に興味がない その他（ ）

22. 新型コロナウイルス感染症終息後、あなたが行きたいと思われる旅行先を教えてください。（複数回答可）

- 関東圏（東京、横浜、神奈川、鎌倉） 関西圏（大阪、奈良、京都）
北海道（札幌、小樽） 九州（福岡、熊本、鹿児島） 沖縄 その他（ ）

23. 問21で選択した目的地へ旅行をしたいと思うのは、どのようなお気持ちからですか。（複数回答可）

- 伝統的な日本文化を楽しみたい 本場の日本食を求めたい 美しい景色に触れたい
思い出を作るため 思い出の場所を訪れるため 人気の観光地だから
旅行先に対して知識も深い関心もある 知識や教養を深めるため
なんとなく その他（ ）

【新型コロナウイルス感染症終息後の訪日意欲に影響を及ぼす要因】

24. 新型コロナウイルス感染症終息後の訪日意欲について質問する。以下の項目について、選択肢のような5段階評価に従って最も適切なものに✓をお入れください。

項目	そう思う	ばそう思う	どちらかと言え いえない	どちらとも ざそう思わない	とどちらかと言え そう思わない	該当しない
新型コロナウイルス感染症終息後、あなたは日本を訪れたい下記の理由についてお答えください。						
(1) 伝統的な日本文化を楽しみたい						
(2) 本場の日本食を求めたい						
(3) 美しい景色に触れたい						
(4) 新しい体験をしたい						
(5) ライブやスポーツを見たい						
(6) 漫画やドラマの影響						
(7) ビザが取得しやすい						
(8) 旅行料金は比較的安い						
(9) 移動が便利						
(10) 中国に近い						
(11) 医療体制がきちんと整備されている						
(12) 旅行先から歓迎されている						
(13) 外国人旅行者向けの支援策が魅力的である						

(14) 日本の商品を買いたい						
-----------------	--	--	--	--	--	--

25. **新型コロナウイルス感染症終息後**の訪日意欲について、その他の理由がありましたら教えてください。

【新型コロナウイルス感染症終息後のマーケティング戦略】

26. 以下の項目について、選択肢のような5段階評価に従って最も適切なものに✓をお入れください。

項目	非常に重視する	重視する	どちらでも構わない	あまり重視しない	全く重視しない	該当しない
新型コロナウイルス感染症終息後、あなたは日本を訪れたい際に重要視する項目について教えてください。						
(1) 飲食店の価格						
(2) 飲食店の施設・デザイン						
(3) 飲食店の衛生状況						
(4) 飲食店の味						
(5) 飲食店のサービス						
(6) 飲食店の口コミ						
(7) 飲食店の立地状況						
(8) 個室のある飲食店						
(9) 宿泊先の価格						
(10) 宿泊先の施設・デザイン						
(11) 宿泊先の衛生状況						
(12) 宿泊先の口コミ						
(13) 宿泊先の食事						
(14) 宿泊先の立地状況						
(15) 旅行会社が提供する格安ツアー						

(16) 交通チケットのセット販売						
-------------------	--	--	--	--	--	--

27. **新型コロナウイルス感染症終息後**、あなたは日本を訪れたい際に重要視するその項目がありましたら教えてください。

--

28. 自由記入欄。本アンケート調査を受けてお気づきの点や感想、どんなことで結構ですから、自由に意見を述べてください。

--